

学習案内 第1学年 【 美術 】

1. 学習目標

- 美術における対象のとらえ方を理解し、意図に応じて表現方法を工夫し表すことができるようになる。
- 自然の造形、美術作品のよさや美しさ、表現の意図や工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることができるようになる。様々な美術文化に触れ、見方や感じ方を広げられるようになる。
- 学んだことを生かし心豊かな生活に生かしてみよう。

2. 学習内容と学習のねらい

月	単元名（学習内容）	学習のねらい
1 学 期	「デザインや工芸など」 ◇鉛筆で表す。色を学ぶ、色を知る ◇模様のデザイン ○色、形が楽しいボックス 「鑑賞」 ○機能と美しさの調和。 ○伊藤若冲の世界	・線で表現することに興味を持ち線で形を表現し、グラデーションができる ・色彩で表現することに興味を持ち混色し、グラデーションができる ・よく観察し、特徴などから単純化、誇張、装飾し新しい形を作ることができる。 ・新しい形、色の組み合わせを作成しリピテーション・グラデーションできる。 ・配色を工夫できる。変化とまとまりを考えられる。 ・アクリル絵の具を目的に応じ彩色することができる。 ・生活の中にデザインがどう生かされているかを考えながら鑑賞できる。 ・生活や社会を豊かにするデザインの考え方を理解する。 ・伊藤若冲の作品を楽しく観賞する
2 学 期	「絵や彫刻など」 ◇表したいものを生き生きとした立体に表す ○生命力を感じて 興味のある動物を生き生きと表す 「デザインや工芸など」 ◇木を暮らしに生かす ○木で作るスプーン・ナイフ 「鑑賞」 ○機能と美しさの調和	・表したいものの形や色彩、質感をとらえ立体に表すことができる。 ・構造を知り、特徴から発想を広げることができる。 ・生き生きとした姿を表現することに関心を持てる。 ・機能性、使いやすさ、美しさをもとに形を考えることができる。 ・自然物等を観察し特徴を形に生ずることができる。 ・糸ノコ、彫刻刀、やすり等を安全に計画的に使うことができる。 ・用途を考え安全な塗装仕上げができる。 ・身近な用具と機能と美しさに関心を持ち鑑賞できる。
3 学 期	「絵や彫刻など」 ◇見ることから発見◇ ○身の回りにあるものを描く 「鑑賞」 ○私にとって作ること	・形や色彩を観察し、とらえ方を理解し描き方を工夫して表す。 ・上履きの持つイメージや考えを表そうとよく観察できる。 ・気づいたこと発見したことを表すために 画用紙へ上履きをどのように配置するか工夫できる。 ライティング（光の方向・陰影）を工夫できる。 奥行や立体感、心象を色彩で工夫している。 パステル使い方を自分の狙いに合わせ工夫できる ・革や布等の質感の表現、背景（バック）の表現に工夫できる。 ・作品を通してものの形や色彩の美しさを感じ取ることができる。

3. 評価の観点と方法（三つの観点を総合的に判断して評価します。詳細は単元ごとのプリントに記載）

	知識及び技能	思考力、表現力、判断力など	学びに向かう力、人間性など
評価の方法	・形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果などを理解している ・材料や用具の使い方などを身に着け意図に応じて工夫して表している。 ・材料や用具の特性化などから制作の順序などを考えながら見通しをもって表している。 ・造形的な特徴などを基に全体のイメージでとらえることを理解している	・構成や、装飾の目的や条件などを基に用いる場面などから主題を生み出し、調和の取れた美しさを考え表現の構想を持っている。 ・使う目的や条件などを基に使う者の気持ち、材料から主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさとの調和を考え表現の構想を練っている。 ・対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、もとに主題を生み出し全体と部分との関係を考え、創造的に構成、こころ豊かに表現する構想を練っている。	・構成や装飾の目的や機能などを考えた表現の学習活動に楽しく取り組もうとしている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい、身近なものや生物の形や色彩の美しさをもとに表す活動に楽しく取り組もうとしている。 ・若冲の作品や関連する美術文化などの鑑賞の学習活動に楽しく取り組もうとしている。

